

令和5年度地震・津波防災訓練 (内閣府・和歌山県串本町)

実施報告書 (概要版)

和歌山県串本町について

和歌山県串本町は本州最南端に位置する。町内の潮岬は、東京の八丈島とほぼ同緯度である。東西に長いリアス式海岸は、橋杭岩など雄大な自然美に恵まれ、吉野熊野国立公園の指定を受けている。

黒潮の影響で年間平均気温は17度前後あり、総面積約135km²の8割は山地が占める。カツオや伊勢海老、マグロなどの海産物、キンカンやポンカン、さつまいも「なんたん蜜姫」などの農産物が名産である。

人口は約14,000人で高齢化率は50%近い。町の沿岸部は周期的に起こる地震や津波により過去に大きな被害を受けており、「南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域」に指定されている。

町は、これまでに和歌山県の「津波から『逃げ切る!』支援対策プログラム」により3連動地震の津波避難困難地域として10地区が対象とされており、避難路整備や避難ビル指定、堤防・護岸整備などに取り組んできた。特に公的施設の高台移転を進めており、病院や消防署などに続いて2021年には役場庁舎も移転した。

各地域の自主防災組織等による防災訓練にもつとめている。



出典：国土地理院

訓練概要

- 訓練想定：令和5年11月19日（日）午前9時頃、紀伊半島沖から四国沖を震源とするマグニチュード9.1の大地震が発生。その後気象庁から、串本町沿岸に大津波警報（特別警報）が発表された。
- 実施日時：【訓練実施前WS】 令和5年10月28日（土）13:00～15:00
【地震・津波防災訓練】令和5年11月19日（日）9:00～11:30
【訓練実施後WS】 令和5年11月19日（日）11:30～14:15
- 主催：串本町、内閣府
- 参加者数：約50名
- 参加機関：堀笠嶋区の自主防災組織、串本古座高校教員・生徒、串本町
- 訓練項目：シェイクアウト訓練、津波避難訓練、避難所開設訓練、防災講演会等
- 訓練の特色：「健康・体力づくり」の視点を避難行動につなげることを重点に訓練

訓練の成果

- 【成果】
- 串本町の課題である、高齢者の避難の迅速化について、避難しやすい体づくりや近所での声掛けなどの重要性を啓発できた。また毎年同じような避難訓練をされてきたなかで、今後の訓練のあり方として新しい視点を提供できた。
 - 津波避難を速やかに行ううえで前提となる自宅玄関への動線の確保、避難路における障害となるものの有無、さらには避難所の設営等について意識を深めることができ、今後取り組んでいく課題を明らかにする機会となった。

- 【課題】
- 津波避難訓練では、各自宅から避難所（高校体育館）までの移動に要した時間の計測を行ったが、今回のモデル地区では現時点においては平均して約7分要しており、また約4分の1の人は10分以上要した。
 - 訓練に参加した約半数の方が周辺に要支援者がおり、その方たちを支援する意思をもち、また周辺で避難について話し合ったことがある。要支援者ごとにどのような支援が望まれているかを地区単位で情報共有していくことは有意義と考えられる。
 - バイクで避難された方もおられ、車避難を望む方もおられるなか、今後は発災時の車での避難をどのようにするか、地区ごとでの検討が必要。
 - 上記の点が明らかになったことから今後、個別に検討し対策をとることが望まれる。

10月28日（土） 13:00～15:00 訓練実施前ワークショップ

- ・町から地震・津波防災についての問題意識と11/19訓練について説明があった。
- ・アドバイザーから「災害にも対応できる自分と地域の体力づくり」と題した講演があり、健康や福祉、近隣のコミュニケーションが、発災時の迅速な避難に役立つとの問題提起があった。

▼ワークショップの様子



▼アドバイザーから講演（兵庫県立大学 澤田准教授）



11月19日（日） 09:00～11:30 地震・津波避難訓練

- ・11月19日（土）午前9時に南海トラフ地震・津波の発生を想定しシェイクアウト訓練を開始。9時10分から津波避難訓練を行った。
- ・メイン会場の串本古座高校体育館では、避難所開設訓練を行った。避難所の開錠の仕方の説明や、段ボールベッドなどの設置方法の説明と使用体験などを行った。
- ・アドバイザーから「振り返りとこれからのこと」と題した講演があり、協力しあえる取組の積み重ねが発災時対応に役立つとの示唆があった。

▼シェイクアウト訓練



▼避難所への津波避難訓練



▼避難所の開錠の仕方の説明



▼段ボールベッドの設置方法などの説明



11月19日（日） 11:30～14:15 訓練実施後ワークショップ

- ・午前中の訓練終了後、休憩を兼ねて、非常食（アルファ米）の昼食。
- ・町作成の体操DVDを視聴しながら、特に避難に重要な下半身を強化するものを全員で実施。
- ・内閣府から南海トラフの情報提供後、質疑応答。
- ・町長挨拶で終了。

▼体操



▼質疑応答の様子

